

はじめに ～本書のねらい～

本書は、F P 技能検定「精選問題&模擬問題」シリーズにおけるF P 技能士 1 級学科試験対策問題集（'18～'19年版）です。F P 技能検定「精選問題&模擬問題」シリーズは、F P として習得しなければならない基本の基本から、F P としての最上級の知識及び技能までを、無理なくステップ・アップしながら習得することができるように、かつ、効率よく短期間において習得し、試験に合格することができるように執筆しました。

F P 技能士 1 級学科試験は、F P 技能検定試験における最上級の試験であり、ハイレベルな出題が多く、かつ、出題範囲は広範囲に及んでいます。その結果、これまで、効率的な受検対策は困難な状況にあり、過去 3 年間の合格率は概ね 10% 程度を推移してきました。しかし、資格試験である以上は、これを効率よく突破するための「コツ」が存在し、本書は、この難関資格試験を効率よく突破するための「コツ」を、本書をお買い求めいただいた皆様に提供するものです。

F P 技能検定試験は、6 割の得点で合格することができる試験です。そこで、本書は、決して、満点での合格を目指しません。なぜならば、誠に残念なことではありますが、あらゆる資格試験において、試験において出題される問題点のすべてが、実際の仕事や生活の現場において役に立つ知識やノウハウではないからです。むしろ、F P 技能検定試験において出題頻度の高い項目を知り、出題頻度の高い項目を重点的に学習することにより、F P として核となる知識及び技能を修得し、かつ、試験の合格を手中にすることができるのです。これが本書のねらいです。

どうぞ本書を活用されて、F P 技能士 1 級学科試験に一発で合格していただき、合格された後、更なるステップ・アップを通じて、真にお客様のためになる F P として、また、F P 業界をリードする人財として、各方面の第一線でご活躍されることを祈念します。

2018年5月

株式会社 ラピュータ ファイナンシャル アドバイザーズ

C O N T E N T S

目次

本書の使い方	V
FP(ファイナンシャル・プランニング)技能検定について	IX

精選問題 基礎編

A分野	ライフプランニングと資金計画	3
B分野	リスク管理	39
C分野	金融資産運用	79
D分野	タックスプランニング	105
E分野	不動産	143
F分野	相続・事業承継	179

精選問題 応用編

		213
--	--	-----

模擬問題 基礎編

		283
正解・解説		315

模擬問題 応用編

		355
正解・解説		371
巻末資料		389
過去問題及び模範解答(2018年1月実施)		409

本書の使い方

まずは
各分野

出題アラーム一覧表を確認する

基本問題に取り組む

精選問題に取り組む

精選問題の正解・解説をよく確認する

続いて

模擬問題にチャレンジ

模擬問題の正解・解説をよく確認する

受 検

見事に合格！

出題アラーム一覧表の見方

'18年度 出題 アラーム	項目	'17年度			
		'18/01		'17/09	
		基礎	応用	基礎	応用
☆☆☆	ファイナンシャル・プランニングと倫理				
☆☆☆	ファイナンシャル・プランニングと関連法規			○	
☆☆☆	ライフプランニングの考え方・手法	○			
★★★	公的医療保険	●		○	○
★★★	公的介護保険		○		
☆☆☆	労働者災害補償保険	○			
★★★★	雇用保険		○	○	○
★★★	公的年金-全般	◎			
★★★★	公的年金-老齢給付			○	◎
☆☆☆	公的年金-障害給付				
★★★★	公的年金-遺族給付	○	◎		
★★★★	企業年金(財形貯蓄・国民年金基金等を含む)	○		○	
★★★	ライフプラン策定上の資金計画-住宅	○		○	
☆☆☆	ライフプラン策定上の資金計画-教育			○	
☆☆☆	ライフプラン策定上の資金計画-老後	○			
★★★	中小法人の資金計画			○	
☆☆☆	ローンとカード				

2015年度から2017年度に実施された試験について、◎は1問より多く出題された項目(例えば、当該項目について1問出題されたほか、別の問題の選択肢として出題されていた場合)、○は1問出題された項目、●はある問題の選択肢等として部分的に出題された項目をあらわしています。なお、出題がなかった項目については、掲載を省略していることがありますので、この一覧表に記載されている事項が、FP技能検定試験の出題範囲のすべてではありません。そして、これらの過去3年間における出題傾向から2018年度の試験における出題予想を示したのが「出題アラーム」です。FP技能士1級学科試験においては、4肢択一式の基礎編と、記述式の応用編を同時に受験しなければなりませんので、基礎編と応用編の両方の出題傾向を総合的に勘案して、「出題アラーム」の「★」の数を決めました。特に強く出題が見込まれる項目を「★★★★」、強く出題が見込まれる項目を「★★★」、出題が見込まれる項目を「★★」であらわしています。合格に必要な6割の得点を効率よく獲得するためにはどの項目を重点的に学習すればよいのか、一目瞭然です。

■ 基本問題について

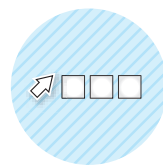
基本問題は、各分野の精選問題（基礎編）の前に配置されており、各分野とも、A～Zの空欄補充式の問題となっています。F P 技能士 1 級学科試験、特に、4 肢択一式の基礎編においては、ハイレベルな内容の選択肢が数多く出題されていますが、中には、比較的平易な選択肢も混在しています。この試験に合格するためには、比較的平易な問題を取りこぼさないことが重要です。そこで、基本問題は、比較的平易な文章の空欄を補充していただくことによる基礎的な知識の再確認及び強化を目的としました。語群のない空欄補充式の問題であるため、問題によっては、正解とはされていない言葉が入り得る問題もありますが、この試験を合格するためにぜひ覚えておいていただきたいキーワードを正解としました。基本問題を通じて、このフレーズが出てきたら、この言葉がキーワードだ、ということをしかりとたたき込んでいただいて、得点力の底上げを図ってください。

■ 精選問題について

精選問題（基礎編）は、過去に実際に出題された問題の中から正解に直結する選択肢を精選し、かつ、2018年度の試験対策にとって有効に機能するように編集した○×式の問題です。問題の難易度についても、過去に出題された問題と同等になるように考慮しています。精選問題（基礎編）は、正誤の判断ができればよいものではありません。正しい記述は正しく暗記していただき、誤った記述は何が誤っているのか正しく理解するように努めてください。

精選問題（応用編）は、過去に実際に出題された問題をベースとして、2018年度の試験対策にとって有効に機能するように編集した記述式の問題です。F P 技能士 1 級学科試験・応用編は、計算問題や記述式の問題によく慣れておくことにより、確実に得点をあげることができるようになります。

精選問題（基礎編・応用編）は、1 回のみならず、2～3 回程度挑戦していただくと、とても効果的です。これらの問題を習熟することにより、合格に必要な 6 割の得点力を十分につけていただくことができます。正解・解説部分もしっかりと確認してください。正解・解説部分は、この部分だけを読み進めていただいても内容がわかるように記述しています。試験前の総仕上げや復習にもお役立てください。



理解度を
チェックしよう！
(各問題に付いています)

A分野 出題アラーム一覧表

'18年度 出題 アラーム	項目	'17年度			
		'18/01		'17/09	
		基礎	応用	基礎	応用
☆☆☆	ファイナンシャル・プランニングと倫理				
☆☆☆	ファイナンシャル・プランニングと関連法規			○	
☆☆☆	ライフプランニングの考え方・手法	○			
★★☆	公的医療保険	●		○	○
★★☆	公的介護保険		○		
☆☆☆	労働者災害補償保険	○			
★★★	雇用保険		○	○	○
★★☆	公的年金—全般	◎			
★★★	公的年金—老齢給付			○	◎
☆☆☆	公的年金—障害給付				
★★★	公的年金—遺族給付	○	◎		
★★★	企業年金(財形貯蓄・国民年金基金等を含む)	○		○	
★★☆	ライフプラン策定上の資金計画—住宅	○		○	
☆☆☆	ライフプラン策定上の資金計画—教育			○	
☆☆☆	ライフプラン策定上の資金計画—老後	○			
★★☆	中小法人の資金計画			○	
☆☆☆	ローンとカード				

A分野 ライフプランニングと資金計画 基本問題

- A) 金融商品取引法は、証券業のほか幅広い業務を金融商品取引業と位置付け、() 制により横断的に規制している。
- B) 税理士法によれば、税理士資格を有しないFPは、()、業として税務相談を行うことはできない。
- C) 弁護士法によれば、() について、弁護士でなければ行うことができない業務とされている。
- D) 顧客における将来の収支及び貯蓄残高の推移を確認するために作成されるキャッシュフロー表の収入項目には、() を記載する。
- E) 公的医療保険については() が採用されており、サラリーマン等は健康保険に加入し、自営業者等は国民健康保険に加入する等、すべての人は、必ず、いずれかの公的医療保険に加入しなければならない。

	'16年度				'15年度			
	'17/01		'16/09		'16/01		'15/09	
	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用
	○		○			●		◎
	○				○	●		
			○					◎
	○	◎	○	○	○		◎	◎
					◎		◎	
		◎	○		◎			◎
					●	◎		
	○		○	◎	●	◎		
	◎		◎					○
	○				○			○
	○							
			○		○			○

- F) サラリーマン等が加入する健康保険には、全国健康保険協会が運営する健康保険（協会けんぽ）と（ ）の2種類がある。
- G) 健康保険は、被用者を対象とする公的医療保険であり、（ ）における病気、けが、死亡、出産等に対して給付を行う。
- H) 自営業者等が加入する国民健康保険には、市町村（特別区を含む）が保険者となる国民健康保険のほか、（ ）が保険者となる国民健康保険がある。
- I) 原則として、（ ）歳以上の者は、後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の被保険者となる。同制度の対象となった健康保険の被扶養者は、健康保険の被扶養者の資格を喪失する。

答え
 A) 登録 B) 有償・無償を問わず C) 法律事務全般 D) 可処分所得
 E) 国民皆保険 F) 組合健康保険 G) 業務外 H) 国民健康保険組合 I) 75

→ ライフプランニングの考え方・手法

001



元金に終価係数（複利終価率）を乗じると、元金を複利運用した結果としての将来の額が求められる。

→ ライフプランニングの考え方・手法

001



F Pが行う計算には、現在の金額を複利運用した場合に将来の元利合計額はいくらになるかという計算（現在→将来）、現在の金額を複利運用しながら定期的に取り崩す場合にいくらずつ取り崩すことができるかという計算（現在→定期金）等の計算がある。いわば、F Pが行う計算においては、「現在」と「将来」と「定期金」という要素を行ったり来たりするのである。このような計算（複利計算）を行うに際し、係数表を活用すると便利である（6つの係数表は巻末資料として掲載している）。①現在→将来の計算においては終価係数、②将来→現在の計算においては現価係数、③定期金→将来の計算においては年金終価係数、④将来→定期金の計算においては減債基金係数、⑤定期金→現在の計算においては年金現価係数、⑥現在→定期金の計算においては資本回収係数を用いることができる。元金に終価係数を乗じることにより、元金を複利運用した結果としての将来の額が求められる。

● 執筆者、執筆協力者 紹介

● 長尾 数馬（ながお かずま）

株式会社ラピュータファイナンシャルアドバイザーズ代表取締役。1957年生まれ。上智大学法学部卒業。欧米外資系銀行の外国為替資金証券部において、外国為替チーフディーラー、為替資金部長、ハイスプレジデントを歴任。事業法人・医療法人等の財務顧問を務め、弁護士・税理士等とのプロフェッショナルファームを率いる。

● 川崎 誠（かわさき まこと）

株式会社ラピュータファイナンシャルアドバイザーズ取締役、事業統轄本部長。1975年生まれ。筑波大学第一学群社会学類法学専攻卒業。森・濱田松本法律事務所における国内法務パラリーガル部門勤務を経て、同社に参画。コンサルティング事業のほか、不動産事業、生命保険・損害保険事業を管掌。

● 伊藤 康典（いとう やすのり）

株式会社ラピュータファイナンシャルアドバイザーズ顧問弁護士。1975年生まれ。東京大学法学部卒業。弁護士登録後、東京銀座の坂東総合法律事務所にて、不動産仲介会社、デベロッパー、損害保険会社等の法律顧問業務に従事。遺言・相続等、財産管理関連の案件にも注力。2014年、横浜みなとみらい法律事務所を設立し、所長。

● 延平 昌弥（のぶひら まさや）

税理士延平昌弥事務所代表。1963年生まれ。北海道大学経済学部経済学科卒業。味の素ゼネラルフーズ株式会社、都内大手会計事務所勤務を経て、2001年に税理士延平昌弥事務所を開業。税理士、米国公認会計士。

● 小野 温代（おの はるよ）

中央大学法学部卒業。社会保険と労働法務を中心に、他の専門家と協働してコンサルティング業務に従事している。1級ファイナンシャル・プランニング技能士、CFP、特定社会保険労務士。

● 著者紹介

● 株式会社 ラピュータ ファイナンシャル アドバイザーズ

<http://www.laputa2000.co.jp/>

2000年設立。顧客の要望に応じたオーダーメイドの総合資産管理コンサルティング・サービスを提供する。個人の顧客に対しては、金融資産運用、海外資産管理、保険設計、不動産有効活用等のファイナンシャル・プランニング業務を通じ、次世代にまで及ぶ長期的な視点からの資産管理サービス（ファミリーオフィス業務）を実践する。また、中小企業、医療法人等の法人の顧客に対しては、財務コンサルティング・サービスを提供するとともに、横浜みなとみらい法律事務所、税理士延平昌弥事務所等と「L F A プロフェッショナルファーム」を構築し、財務戦略、事業承継、医療福祉施設プロジェクト等により、問題の解決を図る。また、エグゼクティブ・コーチングを実践するS N A コーチング協会を運営し、次世代経営者の育成にも注力している。金融商品取引業者（投資助言業・関東財務局長（金商）第1139号）、宅地建物取引業者（東京都知事(1)第97121号）。

ラピュータファイナンシャルアドバイザーズの講師陣は、2004年から、全国各地の金融機関及び主要都市の公開会場において、本問題集（本問題集の前身となったオリジナル教材）を用いたF P 受検対策講座の講師を担当しています。出題傾向の徹底分析に基づく受検対策講座を実践し、多くの受講者にご参加いただき、また、多くの方から合格のご報告をいただいております。

F P 技能士 1級 学科

精選問題&模擬問題 '18~'19年版

2018年 6月20日 '18~'19年版第1刷発行

著者 (株)ラピュータ ファイナンシャル
アドバイザーズ

発行者 金子 幸 司

発行所 (株) 経済法令研究会

〒162-8421 東京都新宿区市谷本村町3-21

電話 代表 03(3267)4811 制作 03(3267)4823

<検印省略>

<https://www.khk.co.jp/>

営業所／東京03(3267)4812 大阪06(6261)2911 名古屋052(332)3511 福岡092(411)0805

カバーデザイン・本文レイアウト／清水裕久(Pesco Paint)

制作／西牟田隼人 組版／DTPG 印刷・製本／日経印刷(株)

© Laputa Financial Advisors 2018 Printed in Japan

ISBN978-4-7668-3381-2

☆ 本書の内容等に関する訂正等の情報 ☆

本書の内容等につき発行後に訂正等（誤記の修正等）の必要が生じた場合には、当社ホームページに掲載いたします。

(ホームページ [書籍・定期刊行誌 TOP](#) の下部の [追補・正誤表](#))

定価はカバーに表示してあります。無断複製・転用等を禁じます。落丁・乱丁本はお取替えいたします。